

今年で3度目の出場を果たしました。マシンの設計デザインが評価され、「デザイン賞」を受賞しました！
<http://www.shinshu-u.ac.jp/news/htm/01377.htm>

3) 6月10日 信大病院とケンブリッジ大学のジョイントシンポジウム
英国ケンブリッジ大学にて、「肝移植」をテーマにシンポジウムが開催されました。日本で生体肝移植が開始されて約20年、ケンブリッジ大学は、脳死肝移植における世界のパイオニアです。
両大学から、それぞれの肝移植の現状と課題について報告があり、その後活発な討論がありました。
このシンポジウムは、日英交流150周年記念イベントとして、信大医学部附属病院、ケンブリッジ大学、日本学術振興会ロンドン事務所の共催により開催されました。後援は日本肝移植研究会です。また、「信州大学国際シンポジウム2008」としても選定されており、国際交流センターも支援しました。
<http://www.hp.md.shinshu-u.ac.jp/information/2008/06/>

4) 6月14日 そば、おやき作り体験！～安曇野満喫ツアー～
留学生応援ファミリーの会の皆様のお招きで、中国、オーストラリア出身の留学生6人が、安曇野市穂高の大王わさび農場を散策、わさびソフトクリームにも挑戦しました。その後、こねこねハウスにて、自分達でそばを打ち、おやきを作り、ワイワイと試食会。たとえ、うどんのような太いおそばでも、きつと、とても美味しかったことと思います。留学生一同、楽しい1日を過ごしたようです。
<http://www.city.matsumoto.nagano.jp/tiiki/kokusai/ouen/2008/sobaoyaki2008/index.html>

5) 6月29日・7月6日 外国人留学生のための進学説明会
6月29日東京会場、7月6日大阪会場にて、今年も日本の大学への留学を検討中、または興味のある皆さんを対象として、説明会が開催されました。
今年は、ブースの両脇に、新たにオーダーした信州大学のノボリを2基立てました。その効果かどうか、あいにくの雨にもかかわらず、多数の方が信大のブースを訪れ熱心に相談する姿がありました！

6) 7月8日 繊維学部金翼水準教授 優れた科学者2000人に選出！
繊維学部創造工学系の金准教授は、ナノ融合材料の優れた業績が認められ、英国ケンブリッジ国際人名センター発刊の「2008/2009 優れた科学者2000人」に選出されました。この人名事典は、世界3大人名事典の中の1冊です。
また、同准教授は、昨年、同じく世界3大人名事典の中の1冊である、米国のマーキス・フーズフー発刊の「2008/2009 Who's Who in Science and Engineering」にも選出されています。
<http://www.tex.shinshu-u.ac.jp/tagblocks/faculty/news/topics/0000000187.html>

7) 7月17日 イギリスの学術専門誌「Proceedings of the Royal Society B」(英国王立協会紀要)のオンライン版に掲載！
総合工学系研究科の博士課程3年の上田さんと、理学部生物科学科の市野教授他の共同研究の成果が、英国王立協会紀要に掲載されました。
<http://www.shinshu-u.ac.jp/news/htm/01409.htm>

★
スタッフ近況報告 ～ 渡邊 有紀恵先生 (国際交流センター非常勤講師)

★
信州大学の留学生OB、OGの皆さん、こんにちは。
国際交流センター非常勤講師の渡邊有紀恵(わたなべゆきえ)と申します。
2007年10月から日本語クラスを担当しています。それまでは韓国と日本で日本語を教え、様々な日本語学習者の方にお会いしてきました。

去年、ある方に「どうして日本語を勉強しているのかわからない」と相談されたことがあります。希望や目標を持っていたけれど、現実とのギャップに驚き、様々な苦勞をしてきたようでした。皆さんの中にも同じ思いをされた方がいるかもしれません。私自身も同じように悩み、立ち止まってしまったことがあります。そんな時私の心を慰め、励まし、奮い立たせてくれたのは「相田みつを」という方の詩でした。

「自分の花」
名もない草も 実をつける いのちいっぱい 自分の花を 咲かせて

「具体的に」
ともかく 具体的に 動いてごらん
具体的に動けば 具体的な 答えが出る から
かんがえて ばかりいると 日がくれちゃうよ

自分の花を咲かせるため、考えるだけでなく小さくても具体的に動く。
そうやって楽しく充実した日々を送れたら本当にいいですね。

信大OB、OGの皆さんが、日本で学んだことや経験したことをいかして、これからもご活躍されることを心よりお祈りいたします。



□ 信大NOW5 1～5 2号

50号までは、掲載内容をURLと共に紹介して来ましたが、上記2号は信大のウェブサイトにはアップされていないため省略いたします。



信州生活ちょっとコラム (生活編)



▼
国際交流課 飯沼直子さんのレポート、学会発表間近です！（冗談です）

皆さん、カラスが動物の鳴きマネをするって知ってました？
彼ら、退屈すると(?)いろいろな動物のマネして遊んでるんです。ほんとです。

大学生の頃、キャンパスにはハトもカラスもたくさんいたのですが、ある時「ぐーるぼっぼー、ぐーるぼっぼー」と頭上で声がするので、てっきりハトだと思って見上げると、なんとカラスじゃないですか。ちょっとヘタだなとは思ったんだけど、かなりそっくりでした。しかも日に日に上達してる（笑）

で、今朝の話。「グワァ、グワァ、グワァー」という声に「なんて鳴くのがヘタなカモだろう。もしかしたらアヒルかな」と思って声のする方を見ると…またもやカラス！しかも明らかに練習してる。何羽かが集まってふざけてるんですね。時々思わず「カァー」と地声が出てしまったりして。かなり笑える光景で、しばらく彼らの練習風景に見入ってしまいました。

皆さんも、何かの鳴き声が聞こえたら、念のため声の主を確かめてみて下さい。もしかしたら彼らのいたずらかも…(^_^)

=====修了者データベース登録のお願い=====

国際交流センターでは、留学生の帰国後のフォローアップの一環として、データベースの作成と活用をすすめています。
まだこのフォームを提出されたことのない方は、ぜひ記入にご協力ください。
また、このニュースレターの配信先メールアドレス変更もこちらからできます。

http://jimuwwww.shinshu-u.ac.jp/isc/regi_form.html

◆配信元：信州大学国際交流センター(SUIC) 文責：河野
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
Tel: 0263-37-2865 / Fax: 0263-37-2181
<http://suic.shinshu-u.ac.jp>

◆連絡先：iad@shinshu-u.ac.jp

- ・各種お問い合わせ
- ・配信停止希望
- ・メールアドレスの変更のご連絡
- ・情報掲載のご希望
- ・ご意見、ご感想 …など